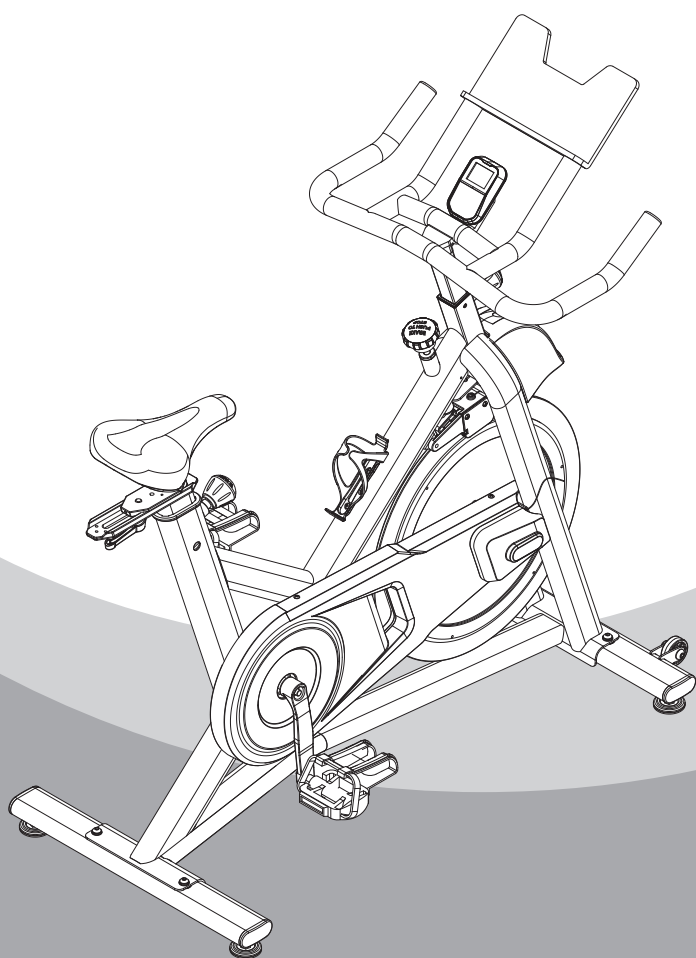


インドアサイクル

INDOOR CYCLE

5.0IC

取扱説明書



家庭用室内運動用具

も く じ

安全のために、必ずお守りください	2
■ 警告記号の意味	2
■ ご使用前に	2
■ ご使用時に	3
■ ご使用前の点検	3
■ ご使用場所	3
■ お手入れと保管	3
各部の名称	4
梱包内容	5
■ 主な付属品	5
■ ハードウェア・キット	5
組立方法	6
■ 組立手順	6
移動と保管	9
■ 移動	9
■ 保管	9
ご使用前の準備	10
■ 水平に調節	10
■ 正しい姿勢	10
■ シートの調節	10
■ ハンドルバーの調節	11
■ ペダルの調節	12
負荷調節 / 緊急停止ブレーキ	13
■ 負荷調節	13
■ 緊急停止ブレーキ	13
コンソールについて	14
■ コンソールの各部名称	14
■ ディスプレイ	15
■ 設定項目について	16
■ アプリモードと BT 心拍モードの切り替え	17
アプリとの接続	18
心拍数センサーの使いかた (別売り)	19
お手入れ	20
■ 日常 (毎回のご使用时)	20
■ 毎週	20
■ 毎月	20
故障かな?と思ったら	21
製品詳細	22
■ 寸法図	22
■ 製品仕様	22

特 長

- 自動で負荷を調整。
- 様々な体型の方にフィットする調整機能。
- 運動記録を瞬時に表示するコンソール。
- @zone/zwift アプリと連携。

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この商品は、ご家庭で手軽かつ安全にエクササイズができるように開発された、家庭用フィットネスバイクです。
安全に、正しくご使用いただくために、ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必要となきにいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

安全のために、必ずお守りください

警告記号の意味

本取扱説明書では、安全にお使いいただくために次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 または  警告	この表示の注意事項を守らないと、火災や感電、転倒、挟まれなどにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。
 注意 または  注意	この表示の注意事項を守らないと、感電や転倒、挟まれ、その他の事故によりけがをしたり、周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。
 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、文章で示します。
 強制	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、文章で示します。

ご使用の前に



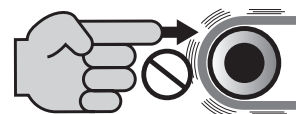
 改造禁止	● 本製品を勝手に改造、修理しないでください。むやみに開けたり改造したりすると、故障の原因となるおそれがあります。
 禁止	● <u>ペットおよび 12 歳以下のお子様を本製品に近づけたり、乗せたりしないでください。</u> ● 本製品を他の用途に使用しないでください。 ● 本製品を 2 人以上で使用しないでください。本製品は 1 人用のトレーニングマシンです。 ● 体重 113kg を超える人は使用しないでください。 ● 本製品を業務用として使用しないでください。本製品は家庭用です。 ● 本製品を回転部分に巻き込まれそうな服装で使用しないでください。 
 強制	● <u>本製品を止める場合は、徐々に速度を落とすか、緊急停止ブレーキを押してフライホイールを停止させてください。本製品は、ペダルとフライホイールが連動しているため空回転はしません。</u> ● 本製品は取扱説明書に従って正しくご使用ください。 ● 運動前に必ずストレッチ、準備体操を行ってください。 ● 運動は、なるべく食後 1～2 時間後に行ってください。食後すぐの運動および運動後 30 分以内の食事はお控えください。 ● 心臓病、呼吸器障害、高血圧ほか、身体に持病や障害のある方は、必ず医師にご相談のうえ、ご使用ください。 ● ご使用前に、組立て箇所が緩みがないか必ず確認してください。

■ ご使用時に



警告

 禁止	● <u>車輪やベルトなどの駆動部・回転部に物や指を近づけないでください。</u> ● 本製品に強い衝撃を与えたり、重い物を載せたりしないでください。 ● 本製品の隙間や穴に物を詰めないでください。 ● 運動量は徐々に増やし、無理をしないでください。飲酒後の運動は絶対にしないでください。 ● 本製品は手で漕がないでください。 ● ペダルを逆回転させる使用はしないでください。
 強制	● 運動靴を履き、運動に適した服装でご使用ください。駆動部・回転部に巻き込まれるおそれがあるため、ひも類のない服装をしてください。 ● 乗り降り、運動するときはハンドルバー（10 ページ参照）を握ってください。 ● 運動中に体の異常を感じたら、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。



■ ご使用前の点検



警告

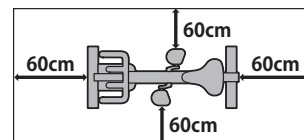
 強制	● ご使用前に必ず接地部のがたや組立部の緩みがないか確認し、調節してください。 ● ご使用前に必ず各調節ノブの締付けを確認してください。
--------	--

■ ご使用場所



注意

 禁止	● 本製品を屋外では使用しないでください。本製品は室内用です。 ● 直射日光が当たる場所や、温度が一定でない場所では使用しないでください。本体の温度が上がり、故障の原因となるおそれがあります。 ● 湿気の多い場所や、水滴などが本製品にかかる場所には設置しないでください。本体内部に水滴などが浸入し、故障の原因となるおそれがあります。
 強制	● 本製品は、必ず安定した平坦で丈夫な床に設置してください。 ● 周囲に燃えやすい物、濡れたりする物がないか確認してください。 ● 安全のため、右図の設置スペースを確保してください。



■ お手入れと保管

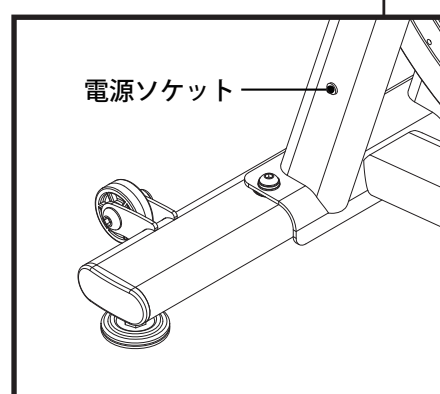
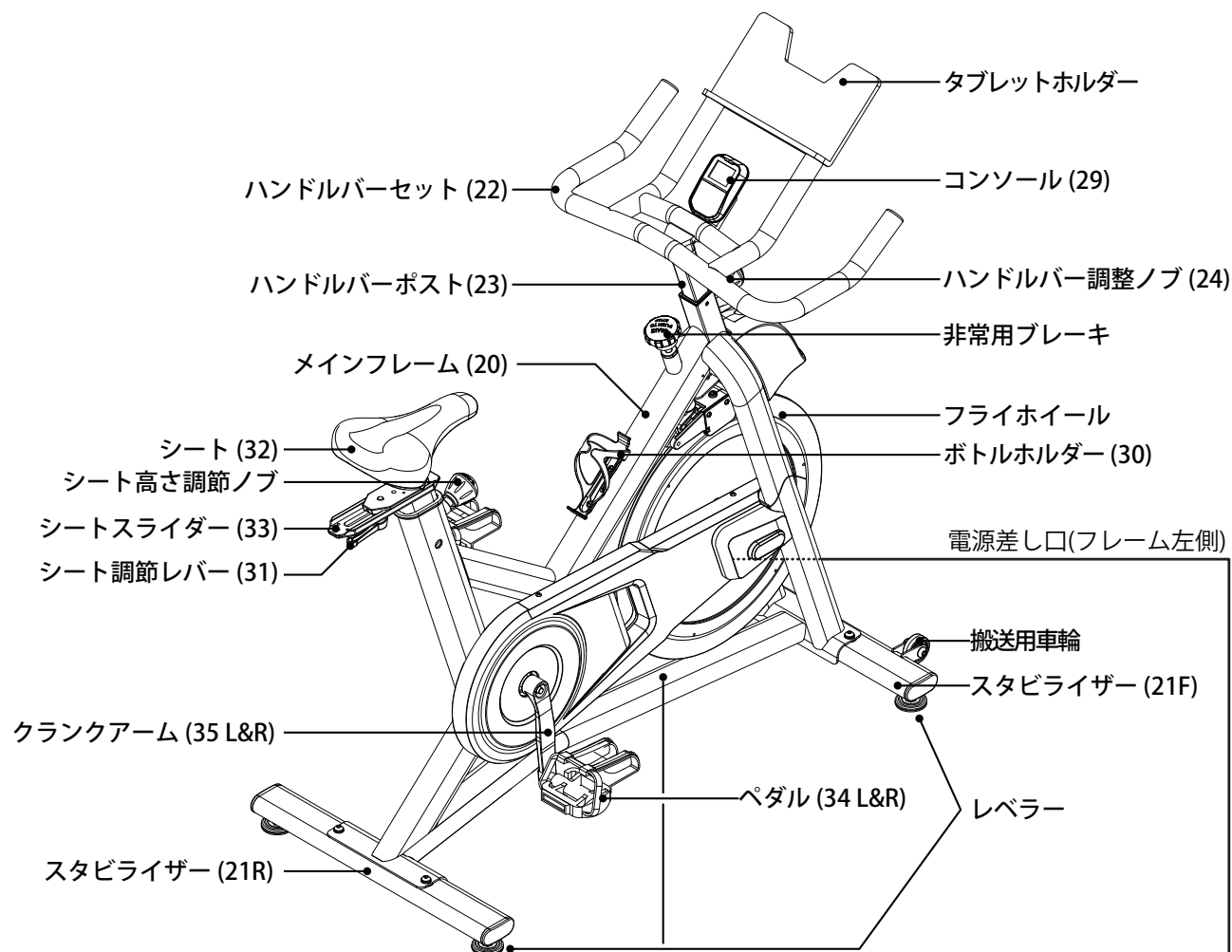


注意

 禁止	● 屋外や湿気の多い場所、高温になる場所に保管しないでください。 ● 転倒のおそれがある場所、お子様が触れる場所に保管しないでください。 ● お手入れにアルコールや中性洗剤などを使用しないでください。水を浸した布をご使用ください。
 強制	● 一週間に一度程度、乾いた布で本製品に付着したほこりを拭き取ってください。また、本製品を設置している床の上もほこりを残さないよう掃除してください。

各部の名称

以下に各部の名称を示します。



梱包内容

本製品をご購入時は、分解された状態で箱に梱包されています。

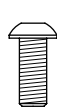
本製品は重量が 38kg あるため、開梱および組立ての際は 2 人以上で行うことをお勧めします。
以下に梱包内容を示します。

梱包内容がすべて揃っていることを確認してください。

■ 主な付属品

- ☐ メインフレーム (20)
- ☐ フロントスタビライザー (21F)
- ☐ リヤスタビライザー (21R)
- ☐ ハンドルバーセット (22)
- ☐ ハンドルバーポスト (23)
- ☐ コンソール (29)
- ☐ ペダルセット (34 L&R)
- ☐ シートポストセット (31、32、33)
- ☐ 取扱説明書 (本書)
- ☐ 電源アダプター

■ ハードウェア・キット



1

ボルト

M8 (20L)―ステップ1利用分
数量: 4
M8 (15L)―ステップ2利用分
数量: 3



2

スプリングワッシャー

Ø8.2
数量: 7



3

フラットワッシャー

Ø8.2
数量: 7



4

ボルト

M4 (10L)
数量: 3



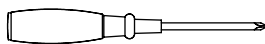
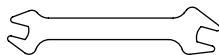
5

フラットワッシャー

Ø10
数量: 1

工具セット

5mm レンチ
13/15mm レンチ
ドライバー



※万一、不足した部品があった場合は、販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

※組立用部品についての詳細は、次ページをご参照ください。

組立方法



注意

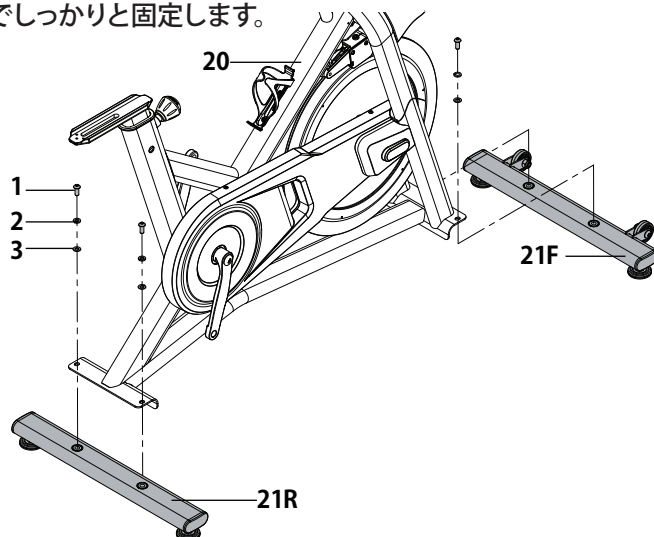
- ・ 組立手順を正しく守り、すべての部品がしっかりと固定されていることを確認してください。組立手順を正しく守らないと、組立部分の締付け不良により、機械の故障につながります。また、運動中に組立部分が緩むと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 組立では2人以上で行うことをお勧めします。
- ・ 組立部品で指などを挟まないようにご注意ください。

本製品は、組立キットを付属しています。ボルトおよびねじ、ペダルの取付けにはレンチをご使用ください。ご不明な点がある場合は、販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

組立手順

1

1. ステップ1のハードウェアを開きます。
2. メインフレーム (20) にフロントスタビライザー (21F) とリアスタビライザー (21R) を取り付け、ボルト (1)、スプリングワッシャー (2)、フラットワッシャー (3) (各2個) を使用し、レンチでしっかりと固定します。

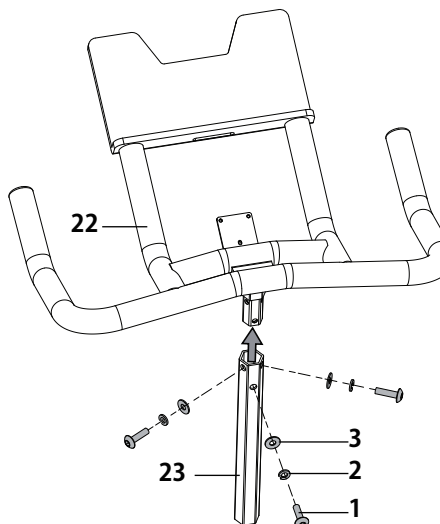


使用部品

- 1 ボルト
M8
数量: 4
- 2 スプリング
ワッシャー
Ø8.2
数量: 4
- 3 フラット
ワッシャー
Ø8.2
数量: 4

2

1. ステップ2のハードウェアを開きます。
2. ハンドルバー (22) をハンドルバーポスト (23) に挿入し、ボルト (1) 1本、スプリングワッシャー (2) 1個、フラットワッシャー (3) 1個でハンドルバーポスト (23) の手前側を仮止めします。
3. ハンドルバーポスト (23) の左右両側をボルト (1)、スプリングワッシャー (2)、フラットワッシャー (3) 2個で固定します。
4. ハンドルバーポスト (23) の手前側のボルトをレンチでしっかりと固定します。

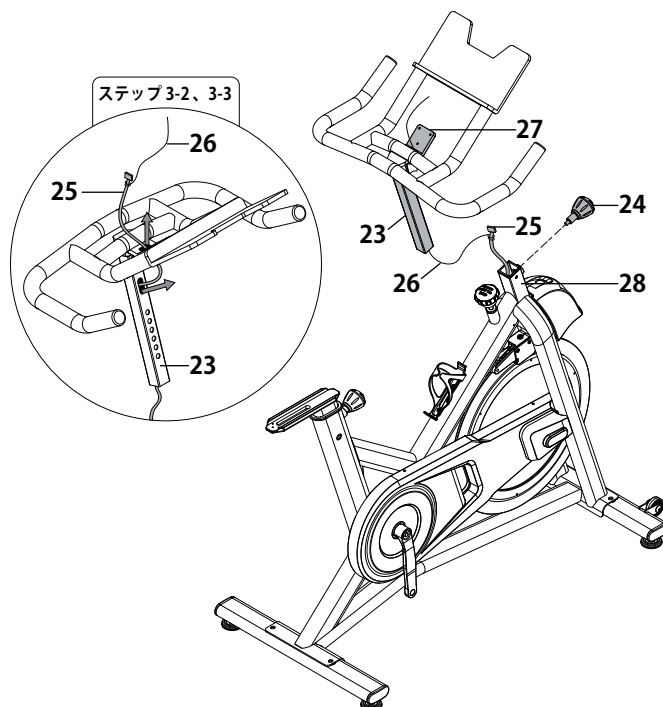


使用部品

- 1 ボルト
M8
数量: 3
- 2 スプリング
ワッシャー
Ø8.2
数量: 3
- 3 フラット
ワッシャー
Ø8.2
数量: 3

3

1. 調整ノブ (24) を反時計回りに回して緩めます。
2. メッセンジャー (26) をコンソールケーブル (25) に取り付けます。
3. コンソールケーブル (25) をヘッドチューブ (28) から引き出します。
4. ヘッドチューブ (28) からハンドルバーポスト (23) を通して、ハンドルバーポスト (23) の前面の穴から引き抜きます。
5. コンソールケーブル (25) をコンソールブラケット (27) の穴から引き抜きます。
6. ハンドルバーポスト (23) をヘッドチューブ (28) に挿入します。
※コンソールケーブルを挟まないようにご注意ください。
7. 調整ノブ (24) を時計回りに回して固定します。
8. メッセンジャー (26) を取り外します。

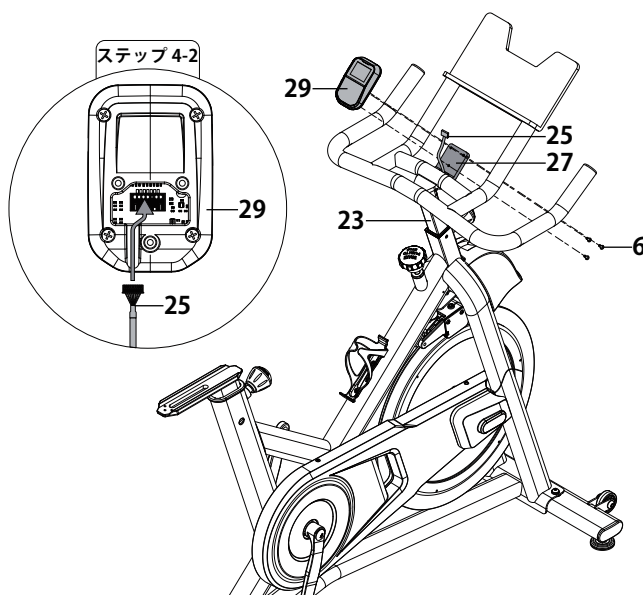


4

1. ステップ 4 のハードウェアを開きます。
2. コンソールケーブル (25) をコンソール (29) に取り付けます。
3. コンソールケーブル (25) を注意深くハンドルバーポスト (23) に押し込みます。
4. コンソールケーブル (25) をコンソール (29) 背面のコネクタに接続します。
※コンソールケーブルを挟まないようにご注意ください。
5. 3 つのボルト (4) を使用してコンソール (29) をコンソールブラケット (27) に取り付けます。

使用部品

- 4
ボルト
M4
数量: 3

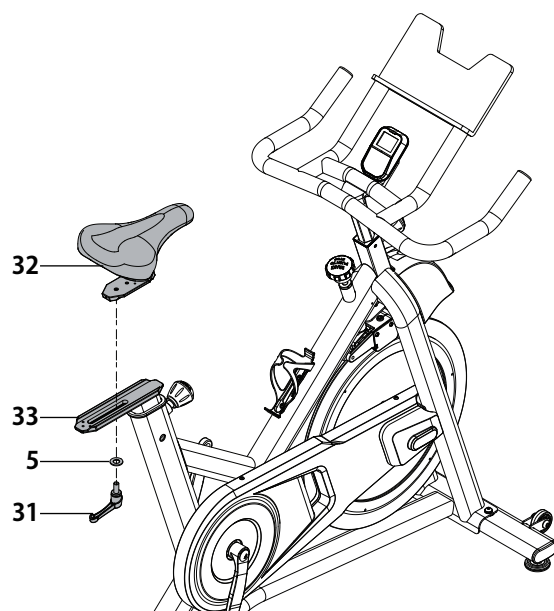


5

1. ステップ 5 のハードウェアを開きます。
2. 調整レバー (31) でシート (32) を緩めます。
3. シート (32) をシートスライダー (33) の上に置きます。
4. フラットワッシャー (5) 1 個と調整レバー (31) でシート (32) を固定します。
5. 調整レバー (31) で固定します。

使用部品

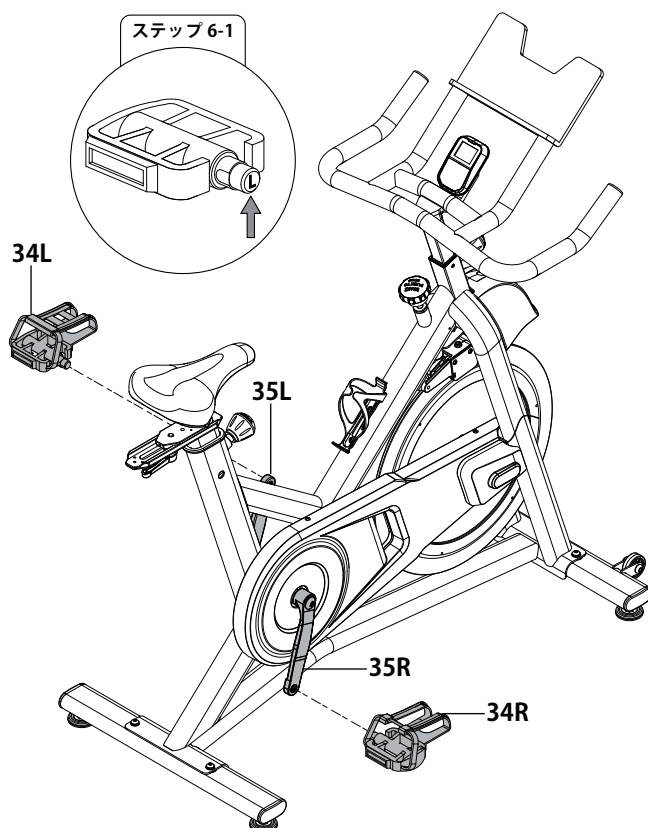
5
フラット
ワッシャー
Ø10
数量: 1



6

1. 左ペダル (34L) には L のラベルが、右ペダル (34R) には R のラベルが貼られていることを確認します。
2. 左ペダル (34L) を左クランクアーム (35L) に挿入し、反時計回りに締めます。
3. 右ペダル (34R) を右クランクアーム (35R) に挿入し、時計回りに締めます。
4. コンビネーションレンチを使用して、ペダルをしっかりと締め込みます。
5. すべての取り付けが完了したら、各取付部にぐらつきがないか確認します。これで完成です。

ステップ 6-1



移動と保管

移動

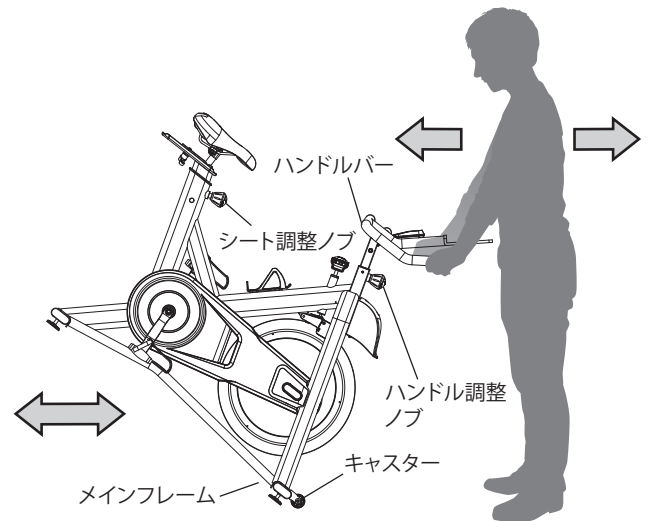
本製品に取り付けているキャスターを使用して移動します。

1. ハンドルバーをしっかりと持ちます。
2. フロントベースフレームを足で踏んで軸にし、ゆっくりと自身の方に傾けます。
3. 後ろ側を浮かせた状態で移動します。



警告

- 移動する前にハンドルバー調節ノブの締付けを必ず確認してください。確認なしに移動すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品を無理な体勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
1人で移動させる自信のない方は、必要に応じて手助けを求めてください。



保管

本製品を保管する際は、下記事項にご注意ください。



注意

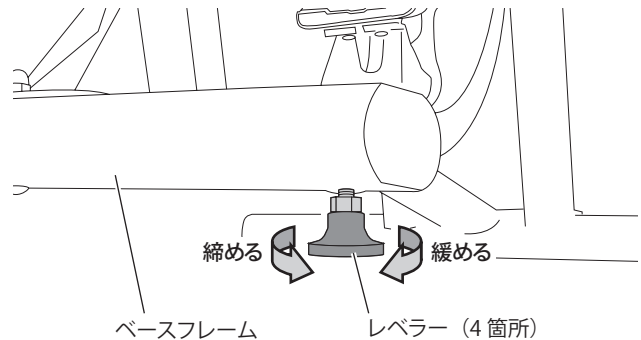
- 長時間使用しない場合は、安全な場所に保管してください。特にお子様やペットが触れないようにご注意ください。
- 保管する場合は、保管するスペースが十分確保できるかどうか確認してください。

ご使用前の準備

■ 水平に調節

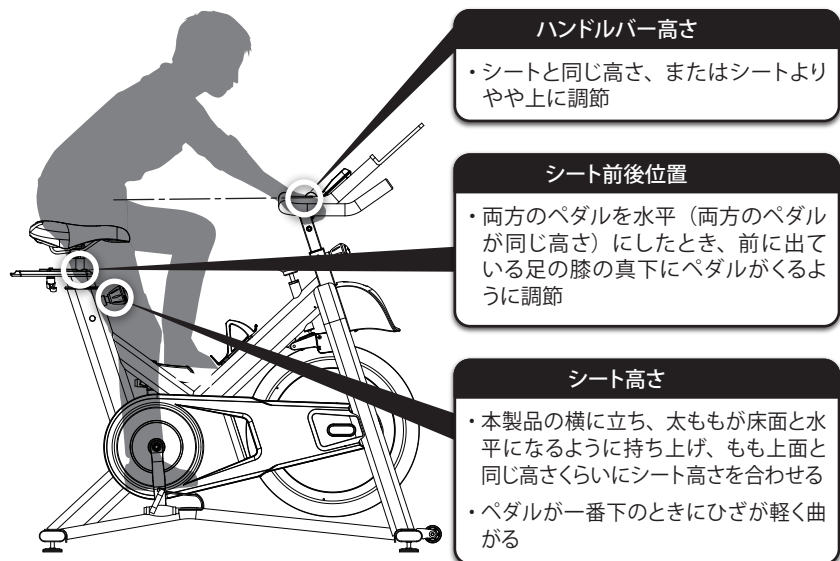
本製品を平らな床に設置しても、本機ががたつく場合は、本体裏面のレベラーを調節して水平にする必要があります。

1. 本製品を使用場所に設置します。
2. ベースフレームに取り付けたレベラー（4箇所）を回して上げ下げします。



■ 正しい姿勢

正しい姿勢で運動することは、快適で効果的な運動が行えると同時に、けがの予防にもつながります。
右図のような姿勢で使用できるよう、次ページ以降を参照し、調節してください。



■ シートの調節



警告

- ・ ご使用前に必ず各調節ノブの締め付けを確認してください。各調節ノブに緩みがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 各部の調節が完了したあとは、必ず各調節ノブの締め付けを確認してください。

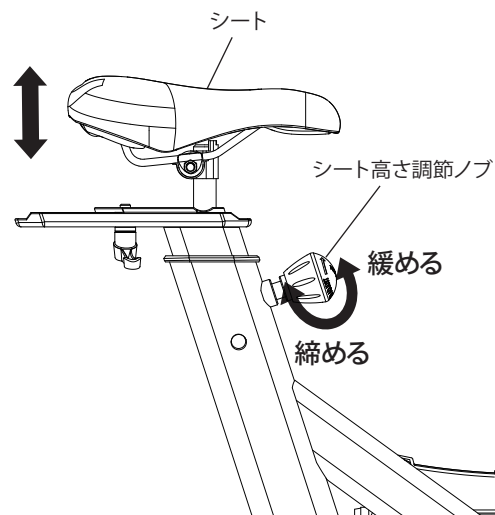
● シート高さの調節



警告

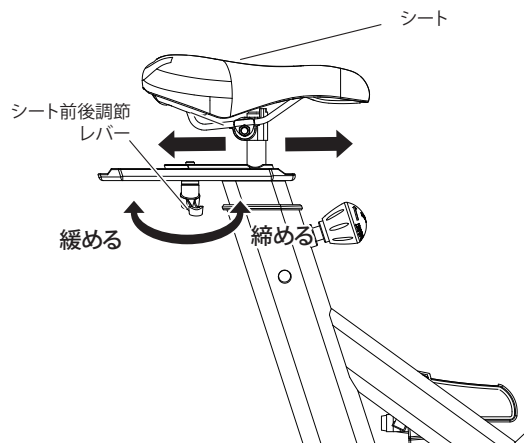
シート高さを支柱の一番下の線を超えて調節しないでください。運動中に思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. シートをしっかりと持ちながら、右図の調節ノブを反時計回りに回して緩めます。
2. 適切なシート高さに調節します。
3. 調節が完了したら、調節ノブを時計回りに回して締め付けます。
4. 調節ノブが完全に締め付けられているか確認します。



●シート前後位置の調節

1. 右図の調節レバーを反時計回りに回して緩めます。
2. シートを前後にスライドさせ、適切な位置に調節します。
3. 調節が完了したら、調節レバーを時計回りに回して締め付けます。
4. 調節レバーが完全に締め付けられているか確認します。



■ハンドルバーの調節



警告

- ・ ご使用前に必ず各調節ノブの締め付けを確認してください。各調節ノブに緩みがあると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 各部の調節が完了したあとは、必ず各調節ノブの締め付けを確認してください。

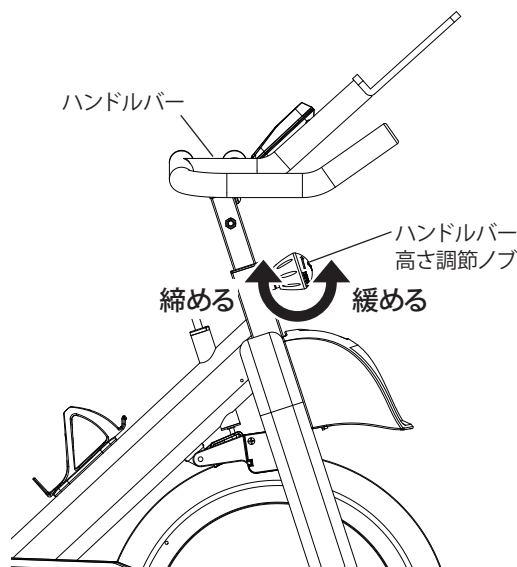
●ハンドルバー高さの調節



警告

ハンドルバー高さを支柱の一番下の線を超えて調節しないでください。運動中に思わぬ事故につながるおそれがあります。

1. ハンドルバーをしっかりと持ちながら、右図の調節ノブを反時計回りに回して緩めます。
2. ハンドルバーの高さを適切な位置に調節します。
3. 調節が完了したら、調節ノブを時計回りに回して締め付けます。
4. 調節ノブが完全に締め付けられているか確認します。



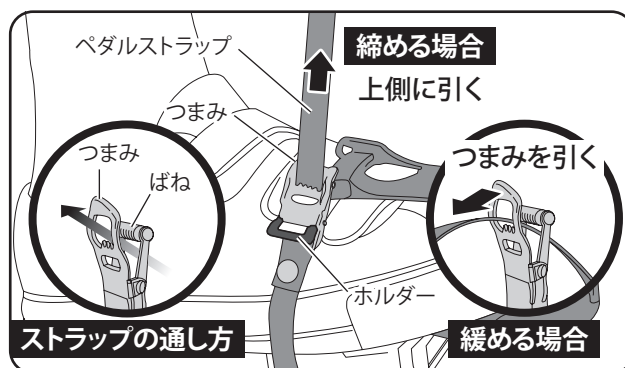
ペダルの調節

●ペダルストラップの調節



ペダルストラップは、ペダルに足先がしっかりと固定されるように調節してください。ペダルストラップに緩みがあると、運動中に思わぬ事故につながるおそれがあります。

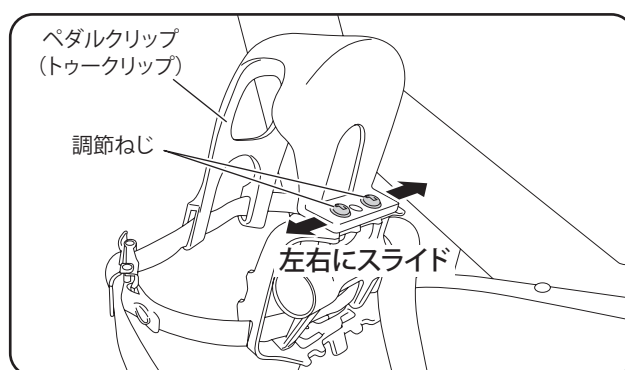
1. 足先をペダルに差し込み、ペダルストラップを右図のホルダー部分から抜いて外します。
2. ペダルストラップを上側に引き、足先を固定します。ペダルストラップを緩める場合は、つまみを外側に引きます。ペダルストラップがつまみから抜けてしまった場合は、図の位置から通します。
3. 調節が完了したら、ペダルストラップをホルダーに戻します。
4. 足先がペダルに確実に固定できているか確認します。



●ペダルクリップ（トゥークリップ） 左右位置の調節

ペダルクリップ（トゥークリップ）の左右位置に違和感がある場合は、右図のねじで微調節します。

1. 調節ねじを緩めて、ペダルクリップ（トゥークリップ）を左または右にスライドします。
2. 左右位置の調節が完了したら、調節ねじを締め付けます。
3. 調節ねじを増締めし、確実に固定できているか確認します。



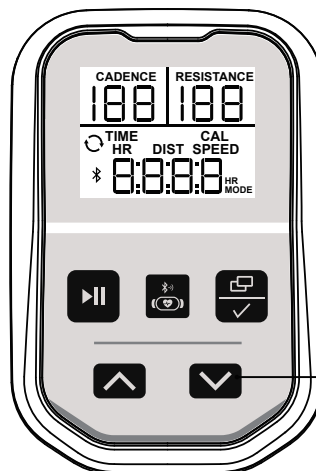
負荷調節 / 緊急停止ブレーキ

■ 負荷調節

コンソールのアップ/ダウンボタンで段階的に調整することができます。

抵抗値を上げるには、▲を押します。

抵抗値を下げるには、▼を押します。

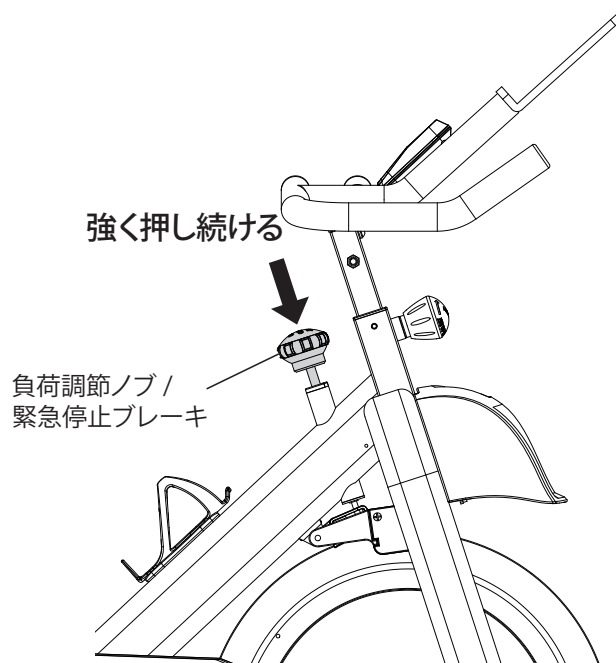


アップ/ダウンボタン

■ 緊急停止ブレーキ

運動中に体調が悪くなったり、急遽運動を止める必要がある場合は、負荷調節ノブ/緊急停止ブレーキを使用してフライホイールの動きを瞬時に止めることができます。

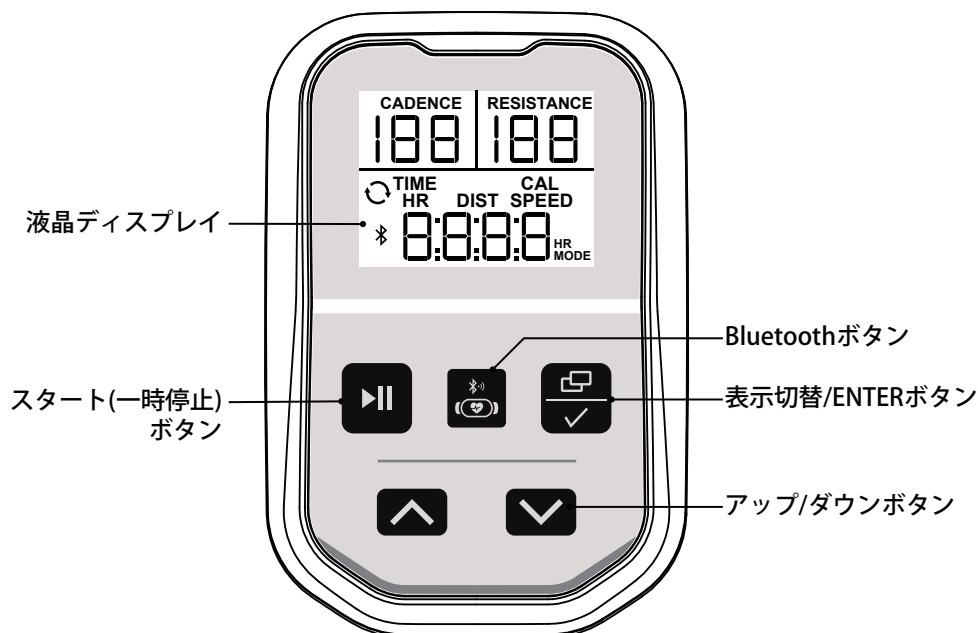
緊急停止させたいときは、右図のように負荷調節ノブ/緊急停止ブレーキを手で強く押し続けてください。



コンソールについて

■ コンソールの各部名称

コンソール（操作パネル）の説明を以下に示します。



○ スタート（一時停止）ボタン

運動またはプログラムを開始します。

運動中にボタンを押すと一時停止します。運動を再開する場合は、再度ボタンを押してください。

一時停止中に 3 秒間長押しするとスタンバイモードに戻ります。

○ Bluetooth ボタン

HR モードを ON にします。

※アプリと接続する際にボタンを押す必要はありません。

○ 表示切替 /ENTER ボタン

各項目を選択します。

・設定時には、設定項目を切り替えます。

・運動中は、ボタンを押すごとに時間、カロリー、心拍数、距離、スピード表示を切り替えます。

※ボタンを押さないときは、5 秒ごとに表示が切り替わる自動切り替えになっています。

※表示を切り替えた後に自動切り替えに戻す場合は  が表示されるまで表示切替 /ENTER ボタンを押します。

○ アップダウンボタン /

抵抗値または時間の設定を変更します。ボタンを押し続けると、抵抗値が 5 ずつ変更します。

■ ディスプレイ

ディスプレイ部分の説明を以下に示します。



ケイデンス

ケイデンスを表示します。

時間

運動またはプログラム開始から経過した時間を時・分・秒単位で表示します。

自動切り替え

自動で表示 (時間、心拍数、距離、スピード、カロリー) が切り替わります。

※特定のデータを表示したい場合は、表示切替ボタンを押して切り替えます。

心拍数

心拍数センサー (別売り) で計測した数値を、毎分あたりの心拍数で表示します。

Bluetooth 表示

アプリまたはBluetoothHRデバイスとペアリング中に表示されます。

負荷

運動負荷を表示します。

カロリー

ユーザーが運動中に燃焼したカロリー (1 キロカロリー単位) を表示します。

速度

運動速度 (0.1km / h 単位) を表示します。

距離

走行した距離を 0.1km 単位で表示します。

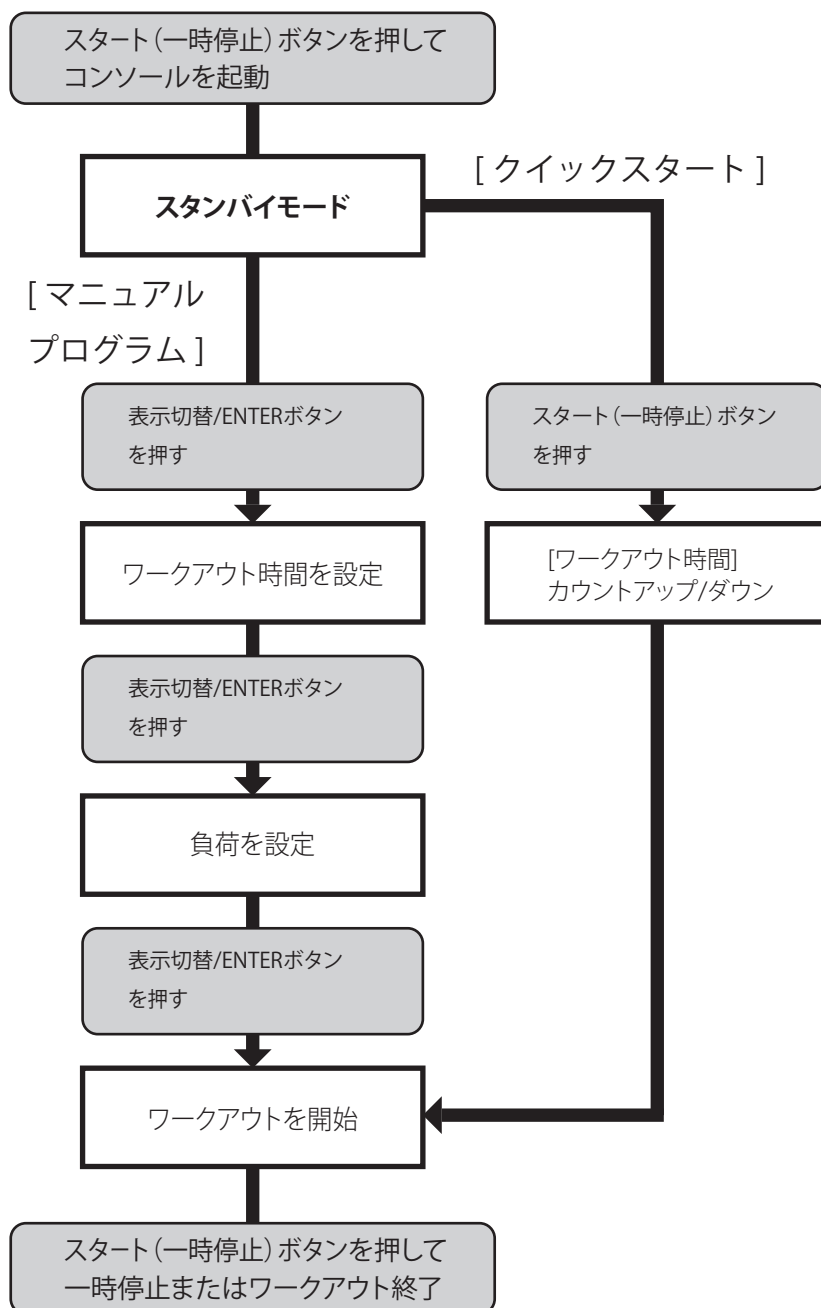
心拍モード

Bluetooth ボタンを長押しで、ワイヤレス HR デバイスと接続が可能になるモードです。

■ 設定項目について

設定項目の遷移を以下に示します。

● 各モード遷移



■ アプリモードと BT 心拍モードの切り替え

スタンダー P1

▼ アプリとの接続（初期設定）

▼
第三者アプリを使用する場合は、デバイスの Bluetooth (BT) をオンにし、アプリのペアリング手順に従ってください。自転車本体に BT マークが点灯していないことを確認し、他の BT 機器に接続されていないことを確認してください。

▼
BTHR ストラップを第三者製のアプリで使用したい場合は、アプリのインターフェイス内から HR ストラップに接続します（アプリの指示に従って HR ストラップを見つけて接続してください）。

▼
第三者アプリの指示に従って、プログラムを起動します。アプリの中から起動するものもあれば、ゲーム機のスタートボタンを押してから起動するものもあります。

▼
ワークアウトを停止するには、アプリで End Ride を選択し、コンソールで Stop ボタンを 3 秒間押し続けてください。

略語の説明

BT=Bluetooth

HR= ハートレート

▼ HR ストラップとの接続（初期設定はオフ）

▼
HR Strap モードに入るには、本体に BT マークが表示されていないことを確認し、現在 Bluetooth (BT) 機器と接続されていないことを確認してください。

▼
HR ストラップを着装し、ストラップの説明書を必ずお読みください。注:胸部接触型 HR ストラップの中には、HR を正確に読み取るために湿らせる必要があるものがあります。

▼
液晶右隅に「HR MODE」マークが表示されるまで、Bluetooth ボタンを数秒間長押しします。コンソールが BT HR ストラップを検出すると、LED スクリーンに BT マークが表示されます。

▼
スタートボタンを押すとワークアウトを開始し、コンソールに心拍数が表示されます。

▼
HR ストラップ・モードを終了するには、BTHR デバイスを取り外し、ディスプレイから BT シンボルが消えたことを確認します。次に、LED 画面に「HR MODE」が消えるまで Bluetooth ボタンを数秒間長押しします。注：Bluetooth がコンソールから切断されるまで数秒かかることがあります。

アプリとの接続

●アプリ機能とは

Bluetooth 経由でマシンとスマートフォン・タブレットを接続することで、様々なフィットネスアプリを楽しむことができます。

対応機種：「@ZONE」「ZWIFT」

※アプリは「App Store」「Google Play」各ストアからダウンロードしてください。



※アプリによって、一部有料となるコンテンツがあります。

対応アプリの最新情報、接続方法、よくあるご質問等は、下記ウェブサイトをご覧ください。

【公式ホームページ】

<https://johnsonjapan.com>

【よくある質問】

<https://johnsonjapan.com/faq-home>

【最新の取扱説明書ページ】

<https://johnsonjapan.com/support/download>

【@ZONE の取扱説明書ページ】

https://johnsonjapan.com/pdf/horizon/atzone_manual.pdf



心拍数センサーの使いかた（別売り）

チェストストラップまたは腕ストラップ（ワイヤレス Bluetooth 心拍計デバイス）を利用して頂くと、心拍数がディスプレイに表示されます。

※アプリを利用時に Bluetooth 心拍計デバイスをアプリのインターフェースから接続します。

本製品の心拍数機能は医療機器のものではありません。エクササイズ専用にお使いください。一般的な心拍数の増減を表示することによるエクササイズの補助を目的にしています。ご使用に際しては、主治医にご相談ください。

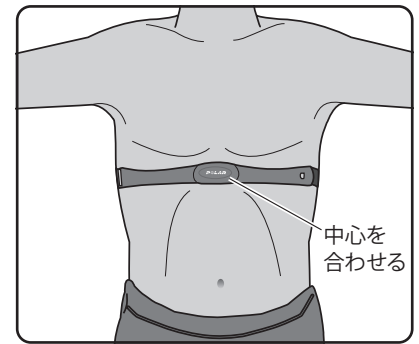
対象機器：ANT +、Bluetooth (2.5MHz)



心拍数モニタリングシステムが正確でない可能性があります。過度なエクササイズは深刻なけがや死に至る可能性があります。めまいを感じたら、すぐにエクササイズを中止してください。

〔チェストトランスミッター装着方法〕

1. 胸骨のすぐ上または胸筋の真下が中心になるよう位置を合わせ、装着します。



お手入れ

本製品をより安全に、より長くご使用いただくため、定期的なお手入れをお勧めします。
以下に、日常、毎週、毎月に分けて説明しますので、スムーズなお手入れにお役立てください。

■ 日常（毎回のご使用時）

日常のお手入れの項目を以下に示します。



- 本製品を布拭きする場合は、溶剤は使用しないでください。
 - 壊れたパーツを発見した場合は、修理・交換が完了するまで使用しないでください。
-
- 毎回ご使用前に、クランクやペダルなどの可動部分のねじなどに緩みがないか確認します。
緩んでいる場合は増締めしてください。
 - 毎回ご使用後に、汗と湿気を乾いた布で拭き取ってください。

■ 毎週

毎週のお手入れの項目を以下に示します。

- クランク部がきちんと固定されているか確認してください。
- すべてのパーツ（ハンドルバー・シート・ボルト・ナット・ねじなど）に調整・交換の必要がないか確認してください。
- 乾いた布で本製品に付着したほこりを拭き取ってください。また、本製品を設置している床の上にほこりを残さないよう掃除してください。

■ 毎月

毎月のお手入れの項目を以下に示します。

- フレーム類に錆や腐食がないか確認してください。
錆や腐食が見つかった場合は、小さめの金属製ブラシで溝、レベラー、レバー部分、ボルト固定部分の錆を取り除いてください。
- すべての消耗パーツを確認し、調整または交換してください。特に下記の部分にご注意ください。
各消耗品の交換については、カスタマーサービスまでご連絡ください。
 - a) シートの状態：
裂けている、切れている、増締めしてもぐらつく場合は交換してください。
 - b) ペダルの状態：
ペダルが緩んでいる場合はボルトを締め付けてください。
ペダルの緩みがよく起こる場合は少量のゆるみ止め接着剤を塗布してください。
- 長期間の使用は、ハンドルバーとシート調節部分の動きを悪くします。
動きが悪くなった場合は、一度本体フレームから取り外して可動部分に潤滑油を塗布してください。
組立て前にはみ出した潤滑油がないか確認し、きれいに拭き取ってください。

故障かな?と思ったら

	症 状	考えられる原因	対処方法
本 体	● フライホイールの回転音以外の異音がする	・ メインユニット内のベルトに緩みがある	・ カスタマーサービスにご連絡ください。
	● 負緊急停止ブレーキの効きが悪い	・ 内部パーツの故障	・ カスタマーサービスにご連絡ください。
	● 本体がぐらつく	・ レベラーの高さが合っていない ・ 各調節ノブの締め付けが不完全	・ 本体を水平に調整してください。(10ページ参照) ・ 各調節ノブを完全に締め付けてください。(10・11ページ参照)
ア プ リ	● ペアリング設定時にマシン名が表示されない	・ アプリ上にバイクを追加されていない	・ バイクを追加して、再度ペアリングを行って下さい。
		・ バイクが他のデバイスとペアリングしている	・ 他のデバイスとペアリングされていないことを確認して、再度ペアリングを行って下さい
	● 表示値が0のままで変化しない	・ ソフト不一致	・ 携帯デバイスまたはバイクのソフトウェアアップデートが必要になります。



オリジナルフロアマット

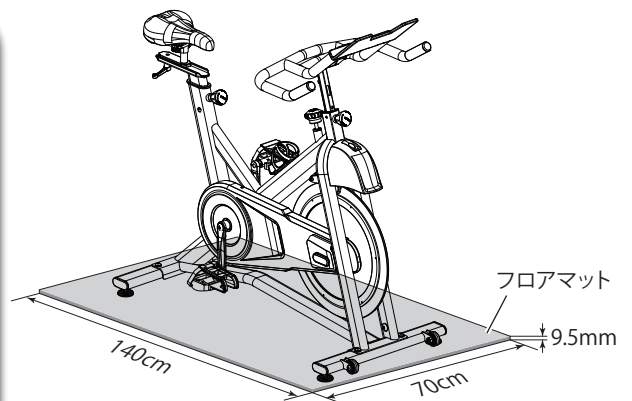
ノイズが気になる方にお勧め!

当社オリジナルのゴムマットを敷いて振動、ノイズの軽減や床の保護にご利用ください。

本製品専用に、下記の仕様をご用意しています。

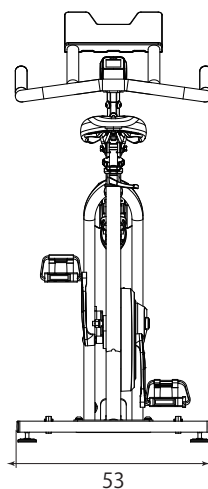
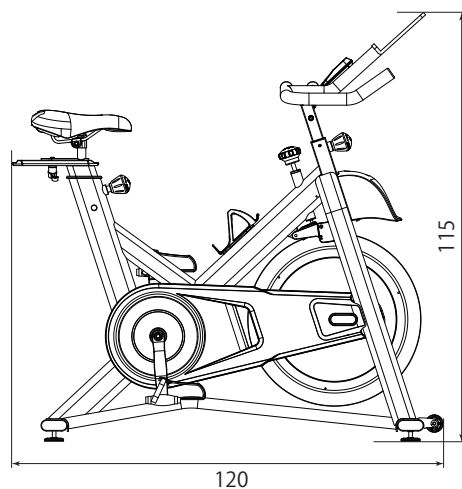
※フロアマットは製品の性質上、特有の臭いがあります。ご使用いただくうちに、特有の臭いは軽減されます。

型 式	寸法 (L × W × H)
YHZM0009	140cm × 70cm × 9.5mm



製品詳細

■ 寸法図



単位: cm

※上記の寸法は、各調節部の最大時の数値です。

■ 製品仕様

特 徴	
運搬用キャスター	○
ハンドルバー調整	上下
シート調整	前後+上下
負荷システム	ECB マグネット負荷
負荷レベル	50 レベル, 0 - 100
ドライブシステム	ベルトドライブ
コンソール	
ディスプレイ	5 インチ LCD
表示項目	負荷、ケイデンス、心拍数、時間、距離、カロリー、速度
プログラム	マニュアル
心拍計対応	Bluetooth HR
エンターテインメント	フィットネスアプリと連携
特徴	各種フィットネスアプリ対応 (@ZONE/ZWIFT)
寸法 (L x W x H)	120 x 53x 115 cm
梱包寸法 (L x W x H)	112 x 31.5 x 80 cm
本体重量	38 kg
梱包重量	47 kg
最大使用者重量	113 kg
電源	100V アダプター

※ 製品仕様・外観などは改良のため予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

保証規定

- 保証期間内において、取扱説明書に従った正常な使用により万一故障等が発生した場合は、無償で修理いたしますので当社カスタマーサービスへご連絡ください。
ただし、以下の項目またはこれに準ずる理由により生じた事故等については本保証は適用されません。
 - 取扱説明書以外の誤操作、取扱上の不注意
 - 天災、火災、地震等による故障
 - 砂、泥、水かぶり等が原因で発生した故障
 - お買い上げ後の転居等による輸送、移動、落下等
 - 設置場所の不備（屋外やガレージ、ベランダ等の半屋外、浴室やプールなどほこりが多く、高温・多湿な場所等）
 - 当社指定のサービスマン以外が行った修理・改造による故障
 - 本製品本来の使用目的以外の使用
 - 本保証書の添付がない場合
- 保証期間後の修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様にてご負担願います。
- 保証期間は、ご購入から1年間です。
- 保証の適用されない故障、および保証期限が切れた後の故障につきましては、有償で修理します。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管しておいてください。また、販売店の印のないものや、お買い上げ日の記載のないものは無効です。お買い上げ時のレシートまたは配達した運送会社の送り状も合わせて保管ください。
- 本製品は、家庭用（室内・個人使用）を目的としたフィットネス製品です。ご家庭以外（施設等）での使用は、保証の対象外となります。
- 保証は日本国でのみ有効です。

保証書

本保証書は、明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

保証を受けるためには、本保証書およびご購入されたお店・ご購入日がわかるもの（レシート、注文明細書、納品書など）が必要になります。紛失された場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

名 称	5.0IC
シリアル番号 フロントベースフレーム に記載（4ページ参照）	
保証期間	本体お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	お名前
	〒 ご住所
	電 話 ()

修理・使用方法に関するお問い合わせ

（お問い合わせの際、シリアル番号をお伝えいただくとスムーズです）



24時間いつでも「修理受付フォーム」
左記QRコードまたは下記Webよりお問い合わせください。
<https://johnsonjapan.com/repair-request>



カスタマーサービス フリーダイヤル 営業時間
0120-557-379 9:00～17:00
(土日祝休み)

●お問い合わせ・発売元

ジョンソンヘルステックジャパン株式会社

〒108-8435 東京都港区海岸3-3-8安田ビル2F

TEL: 03-5419-3560 FAX: 03-5419-3562

<https://johnsonjapan.com>

